



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

事業企画委員会の活動

はじめに

事業企画委員会では、年6回の講演会に加え、討論会開催中の学生向けブレインストーミングや教育的イブニングセミナー等を企画・開催しています。ここでは、今年5、6月の界面コロイドラーニングについて報告し、年度内の事業予定について紹介します。

界面コロイドラーニング

コロイド・界面化学はあらゆる研究分野で必要とされる学問分野でありながら、学ぶ機会は多くありません。本部会では、コロイド・界面化学に関する基礎知識を習得してもらうべく、毎年「界面コロイドラーニング」を開催しています。本講座の前身は「現代・コロイド界面化学基礎講座」であり、今回で第33回となりました。本講座は入社2、3年程度の若手社員の教育を特に想定していますが、実際には幅広い年齢層の方が参加されます。今年は、東京では5月18、19日に日本化学会館にて、大阪では6月15、16日に府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）にて開催しました。いずれも80名程度の参加があり、大盛況となりました。本講座の最大の魅力は、研究開発と教育の両方において実績を持つ豪華講師陣が揃ったプログラムと、さらにその講師陣にじっくり質問できる点と言えます。今年度はさらなる質問時間

の充実を図ったところ、開発現場での具体的な相談等にも発展し、参加者の理解度・満足度が高まる結果となりました。計2日間ではコロイド・界面化学のすべてを網羅することはできませんが、それでも化粧品・医薬品から電子材料に至るまで様々な業界から参加がありました。まだこの講座に参加されたことのない方は、ぜひ来年度以降の参加をご検討下さい。

これからの部会事業

まず、10月13日には、化学会館において、「ソフトマター・バイオ界面の力学とその計測」を開催します。本講座では分子設計から最先端計測に至るまで、最前線の研究事例をご紹介します。11月1、2日には、御茶ノ水の連合会館において、第5回分散凝集科学技術講座「分散・凝集のすべて」を開催します。濃厚系を含む分散系の制御は、化粧品他のトイレタリー製品や製薬、食品、塗料等にとどまらず、ファインケミカルや電池、有機EL等のエレクトロニクス関連分野等、様々な産業界で大きなニーズがありますが、そのための情報収集は容易ではありません。本講座は2日間にわたって2会場を進める大掛かりな講演会で、基礎理論から分析法、さらには分野を絞った実務の講座に至るまで盛りたくさんな構成になっています。配布される分厚い講座資料も毎回好評となっています。



界面コロイドラーニングの会場風景

ます。

また、コロイド先端技術講座として、12月1日に化学会館にて、「E-Colloid：先端エレクトロニクスのためのコロイド・界面化学」を開催します。本講座では、次世代を担うエレクトロニクス技術の根幹となるコロイド・界面化学の最先端の事例につきご紹介いただきます。

さらに来年の1月25、26日には、コロイド界面技術シンポジウムを開催の予定です。初日は界面コロイドラーニングの応用編、2日目はコロイド界面分野における新技術を、より実用化の観点から紹介します。

以上ご紹介した講座の詳細は、部会HPや化学会からのメール配信にて順次お知らせします。多くの方々のご参加をお待ちしております。

【コロイドおよび界面化学部会 HP】

<https://colloid.csj.jp/>

〔蟹江澄志（東北大学）、川上巨作（物質・材料研究機構）、坂 貞徳（日本メナード化粧品）、安部 裕（ライオン）〕

© 2017 The Chemical Society of Japan